

# 改題 土楽たより

どうらく Kogure 農場 2月号 (NO82)

2017年2月10日 (金) 発行 (毎月10日)

## 【農暦】“試行錯誤のマイペース”を再び始めている！

○新しい年をスタートし、これからという時に風邪をひいてしまった。忘年会を控えていたが、新年会や例会の予定が続きドタキャンもあり新年早々迷惑をかけてしまった。まる半月39度1分をピークに微熱と咳が治らなかった。12日間は家の中で過ごした。座敷牢に入れられたような拘束感を味わった。孫娘の受験日との重なり拘束を甘受した。また宴席で倒れた人がいたばかりであったので無理はいけないと思っていた。無理しないでと労(いたわ)りの言葉は嬉しかったが、同時に寂しいものを感じた。1日は釣りを教えると誘われていた。3度も仕切り直しをしていた日であったのである。既に治癒して3日も過ぎていた。まだ農作業をやる気になれなかったので行くつもりでいた。だが、風邪の話聞いて即座に次の機会にしようと言われてしまった。気まぐれの暖かい日もあったが、寒の内(1月5日から2月3日)の寒い日が続いていたので、中止は正しい判断であったと後になって思った。



＜鳳台院＞節分に冠次郎が歌う。石楠花が綺麗なお寺で。3日撮影

○年頭に考えた“試行錯誤のマイペース”をいくつかの新年会に参加し、今年のやり残しの伸び放題になっていたモチの木、山茶花の剪定作業をするなど始めたところであった。やや良い出だしと思っていたところであったので、少し堪(こた)えた。欠席した新年会の仲間から健康を害したこと、体調を崩して欠席したことなどの近況のメールが数通届いた。齢を取ると話題は病と年金と聞いていたが、いつの間にか当事者になっていた。認めたくはないが、齢を自覚させられる正月になってしまった。

○“せめてどちらかに絞り込まれて栽培のクオリティーを高めることと、収穫利用のロスを少なくする事を追求したほうが良い気がします”といつも援農して頂いているIさんからメールを頂いた。私の状況を傍で見ていれば、こう指摘したくなるのは道理であると、私もそう思った。朝倉攻めで退却を余儀なくされた織田軍の話ではないが攻めるより退却することは大変である。藤吉郎(秀吉)が殿(しんがり)を担い大いに評価されたことで有名である。余力のある内に退却する指摘は正しい。葛飾北斎は面倒なことが嫌いで掃除嫌い。家が汚れたら引っ越す。生涯の引っ越し回数は93回だという。才能に恵まれた

北斎の生き方を真似るのは無理があると思うが、“面倒なことが嫌いで掃除嫌い”のところだけは似ている。北斎の引っ越しを真似したいと若いころから願望があった。出来るならリセットして一から始めたい心境になって来ている。

○ブルーベリーの周りの篠だけ刈りと剪定をする。  
次は、ご近所さんから頂いたアラヌカ 20 袋を引き込む予定である。畑の春耕もしたいと思っている。ハウスで保管中であつたカボチャの南部一郎はハクビシンか狸か判らないが食べられてしまった。ブルーシートで覆うなどして防寒しハウスで保管中の白菜を腐らせてしまった。注力不足でマイナスの作業をまた増やしてしまっている。やはり I さんの指摘は正しい。だが“試行錯誤のマイペース”を再び始めている。気力の衰えもあり少し辛いのだが、、、



＜雪の朝＞アラヌカ 20 袋が雪の中に、またワンチャンス遅れに。9 日撮影

### 【楽農】カボチャをハクビシン？に！

- ＜畑 A＞；ブルーベリーの篠刈り、剪定など  
＜ハウス＞；保管中のカボチャをハクビシン？に食われる。白菜が腐る。  
＜畑 B＞；  
\*モチの木、山茶花の剪定、  
\*黒豆、小豆の出荷



＜鳳台院の達磨＞鋭い目をされている。節分の日に。3 日撮影

### 【楽市】イベント交流・直売など

○その他；発信隊懇親会（13 日）笠吟連新年会（14 日）菊池桃子講演会（29 日）川柳の会（2 日）に参加など。\*風邪で、山野草、ラクビー 0B、ピッコロファームの新年会など欠席に。

### 【つぶやき=Tweet】回遊魚のマグロは止まると窒息死する！

○今朝（7 日）のテレビで、スーパーボールで歌うレディー・ガガの映像を報じていた。歌の内容は“一つの国家、自由と正義の名において全ての人を分裂させることはできない”“そこに生きる人々が様々な苦勞を乗り越えて作ってきた国で色んな思いを持った人が作ってきた国である”と歌う。トランプ大統領の 7 ヶ国の入国禁止の大統領令を意識・批判したものであることが見てとれる。ニューヨークに出張で行った時、誰でも受け入れる自由な雰囲気を感じたことが思い出された。10 日ばかりの滞在であつたので何も判ったわけではないが、自由な感じとエネルギーなものを何となく感じた。アメリカ国家は嫌いだがアメリカ人は好きだった。いろいろな人種のアメリカ人が自由な雰囲気を醸し出していたのかもしれない。

○キング牧師を必要とする社会やジョン・レノンが殺される社会には戻って欲しくない。不満が内向して選挙に反映しづらい日本に比べて、民衆の不満が選挙に反映する点では羨ましいが、中産階層から没落した白人の熱狂的に支持が当選に繋がったと云うが、トランプ大統領には怖いものを感じる。タラレバはないが、民主党がヒラリーでなく貧困層から支持されたサンダースが出ていたらトランプに勝てたかも知れない。そして、レディー・ガガはスーパーボールで別の歌を選んでいたと思う。スーパーボールの優勝した選手が恒例のホワイトハウスへの訪問を断ったという。

○平和の遺産が心配な安保法制を進め違憲批判を受けていた安倍首相と人種問題など自由な国を損ね兼ねない大統領令と司法批判するトランプ大統領が10日に日米首脳会談を行う。司法軽視もだが発言とは別に落とし処を用意している？政治手法も似ている。趣味も同じでゴルフプレーも予定され親密を謳われているが、似たもの同士に見えてしまう。揺ぎ無い日米同盟と云われると怖いものを感じる。ある特別な人(層)のためでなく万民のための政治を行って欲しい。人類は共生でしか平和な未来はないと思う。必要なのは壁でなく橋である。レディー・ガガの歌から色々考えてしまった。

○ネガティブシンキング(悲観的思考)が多くなり、読みづらくしているといつも反省している。やはり反省が多いからだと思う。性格的ないい加減さもある。葛西の水族館でマグロの大量死がありニュースになったことがあったが、回遊魚のマグロは止まると窒息死すると言われており、自分の落ち着きなさをマグロに例えて弁明したことがある。一つのことをコツコツすることが苦手である。下手の横好きも自分に言い訳しているのかもしれない。ダメ人間と思いたくないので、一つのテーマを一つの手法で続けるのが苦手なだけだと言いつつしたい。この“土楽たより”は書き始めた時と内容が変わって来ている。“農”的要素が少なくなり、発信する意味があるのか考えることがある。だが、定年後の生きざまが少しでも共有出来ればと勝手に思っている。私にとってはボケ防止の月日記になっているので、最後は発信不用と言われるだろうからと続けていく。メールや賀状に面白く読ませて貰っていると云われると、お世辞的要素が多いと思いつつも嬉しい。少しだけ元気になれる。

**【後記】**、枯れ草と土肌の畑。笠間に、*kogure* 農場にお越し下さい。

**HP** のアドレスは右記に。

**【特に編集せずランダムな構成にします】**



<菊池桃子講演会>「女性のキャリア・ラダー」キャリアはラテン語で轍のこと。ラダーは梯子又は階段。29日撮影

発行者；kogure農場・小暮虎雄  
住所；笠間市本戸4201-10  
携帯電話；090-9333-4135  
メール；[torao-k@nifty.com](mailto:torao-k@nifty.com)  
HP；<http://ayaharu.my.coocan.jp>